



# えひめの 農業農村整備 2025

Agricultural infrastructure  
improvement and rural  
development in EHIME



平成30年西日本豪雨災害「改良復旧」(河内地区) 宇和島市吉田町河内

# 愛媛県

## EHIME PREFECTURE



# ◆ 愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～

## 愛媛県総合計画 ～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～ 2040年頃の目指すべき愛媛の将来像

<基本理念>

愛のくに <sup>え</sup> <sup>が</sup> <sup>お</sup> 愛顔あふれる愛媛県

<目指すべき将来像>

若者をはじめ、県民誰もが自らの希望を実現でき、  
安全・安心で豊かな人生を送れる持続可能な愛媛県

### 愛媛づくりの方向性

2040年頃の目指すべき愛媛の将来像の実現に向けた、  
4年間での中期的な県づくりの方向性(令和5年度～令和8年度)

① 人

次世代を育み、誰もが活躍できる愛媛県

② 経済

“稼ぐ力”を高め、県民所得が向上した愛媛県

③ 暮らし

安全・安心で快適に暮らせる持続可能な愛媛県



### 方向性実現のための政策・施策体系

「人」「経済」「暮らし」の3つの分野の下に9の政策を設定し、さらにその下に37の施策を置き、県の事業は各施策の目標の実現に向けた手段として紐づけ、全分野を網羅した体系とする。

② 経済

施策17 農林水産業の生産振興

【生産基盤等の整備】

- ・平成30年7月豪雨で被災した圃地の再編復旧の推進
- ・所得向上につながる水田のほ場整備の推進
- ・生産性の向上と防災力の強化につながる樹園地再編の推進
- ・農業水利施設の計画的な保全対策の推進
- ・地域協働による農地や農業水利施設等の保全管理活動の促進

③ 暮らし

施策29 大規模災害に備えたまちづくり

【農山漁村地域の防災対策】

- ・ため池の改修・廃止や耐震対策の推進
- ・農地地すべり対策などの農山漁村地域の防災対策の推進

施策37 自然との共生

【農山漁村の環境保全】

- ・農山漁村の持つ美しい景観や自然環境の保全を図る  
中山間地域の棚田の保全や水環境の改善

# ◆ えひめ農林水産業振興プラン2021(R3～R7)

= 愛媛県の未来を創る農業・農村振興条例に基づく基本計画 =

## 農業・林業・水産業の共通の取組

- 西日本豪雨災害からの創造的復興
- 新型コロナウイルスの影響と対応
- 県産農林水産物の輸出拡大
- 魅力あるブランド製品の育成
- 食料自給率の維持・向上
- 「えひめ愛顔の農林水産人」の紹介

### 農業の取組

#### 農業を担う「人づくり」

～えひめ農業を支える担い手を確保・育成します～  
 農業内外からの新規就農・定着の促進、女性農業者の確保・育成、担い手への経営継承支援、農業教育の充実、農業保険の普及啓発、外国人材やみかんアルバイト等多様な人材の活躍促進 など

愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承

[主要指標] 農業産出額1,200 億円(現状維持)

#### 農業で輝く「モノづくり」

～競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます～  
 生産基盤整備の推進、農地中間管理機構による農地利用集積の推進、農産物の生産力強化、先端技術の活用、普及指導活動の推進、ブランド力向上、輸出力強化、6次産業化の促進、環境にやさしい農業の拡大、動植物防疫措置の強化 など

#### 農業を支える「地域づくり」

～地域でつながるえひめ農業を目指します～  
 地産地消・食育の推進、多様な交流の促進、地域の共同活動の促進、荒廃農地対策、防災・減災対策、中山間地域の定住環境の整備、鳥獣被害対策の強化、関係団体との連携強化 など

# ◆ 愛媛県果樹農業振興計画(令和3年3月策定)

今後10年間の  
果樹農業の振興目標

未来型果樹園の創造とブランド果実の安定供給による  
儲かる果樹農業の確立

対策の柱(重点的に取り組む事項)

## 1 平成30年7月豪雨災害からの復興

- ① 被災園地の復旧・復興 災害に強い園地の創造、復旧園地における施設整備や優良品種の導入等
- ② 自然災害への対応強化 排水対策等の基盤整備、被害の予防・軽減のための施設整備等

## 2 未来型果樹園を核とした果樹産地の強化

- ① 次世代につなぐ生産基盤づくりの推進 モデルとなる「未来型果樹園」づくり、担い手への園地集積、緩傾斜化や水田の樹園地化などの基盤整備等
- ② 園内道・モノレールの効率配置の推進 園内道とモノレールの効率的な配置、園地の改良等
- ③ 生産性向上や高品質化の推進 計画的な改植・新植、ハウス・かん水設備・果樹棚等の整備、スマート農業の現地実証等
- ④ 新技術や優良品種等の開発・普及 新品種の開発・栽培技術の確立等

## 3 オリジナル品種の拡大等による儲かる果樹農業の推進

## 4 多様な担い手の確保と次世代への継承

## 5 選果・流通の高度化を可能とする集出荷貯蔵施設の整備

# ◆ えひめ農業農村整備の基本方針

県では、平成30年7月に発生した「西日本豪雨災害からの創造的復興」を最優先課題に掲げ、「防災・減災対策」「人口減少対策」「地域経済活性化対策」に重点を置いて各種施策に取り組んでいます。

農業農村分野においても、西日本豪雨災害で甚大な被害を受けたかんきつ園地の復旧・復興を最優先に、喫緊の課題である「深刻な農業従事者の減少・高齢化」や「頻発・激甚化する自然災害」に対応するため、「担い手対策」と「防災・減災対策」を施策の柱として各種農業農村整備事業を展開し、愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承を目指します。

## 最優先施策

### 柑橘園地の創造的復興

課題：西日本豪雨災害からの創造的復興

崩落した園地について、周辺の被災していない園地も含めて大規模にほ場整備を行う「再編復旧」等により、**災害に強く生産性の高い園地を創造**します。

## 重点施策

### 農業農村を支える担い手対策

課題：農業従事者の減少・高齢化への対応

意欲ある担い手の規模拡大や所得向上につながる生産基盤の整備を推進し、**産地の生産力を強化**します。

- 水田**
- 農地の集積・集約化、営農の省力化・生産コストの削減を目指した**水田の大区画化**
  - 高収益作物への転換や新たな産地形成に向けた**水田の汎用化** など

- 樹園地**
- 園地の緩傾斜化や農道・園内道、かん水施設の整備など、生産性の向上と防災力の強化につながる**再編整備**
  - マルドリ方式との併用やICT化など**既存かんがい施設の高度化**
  - 水田の樹園地転換に必要な**排水対策** など

### 農業農村の防災・減災対策

課題：頻発・激甚化する自然災害への備え

決壊時の影響が大きい防災重点ため池を中心に、ハード・ソフトの両面から、計画的かつ効果的な防災減災対策を推進し、**農業農村の防災機能を強化**します。

## 両対策を支える施策

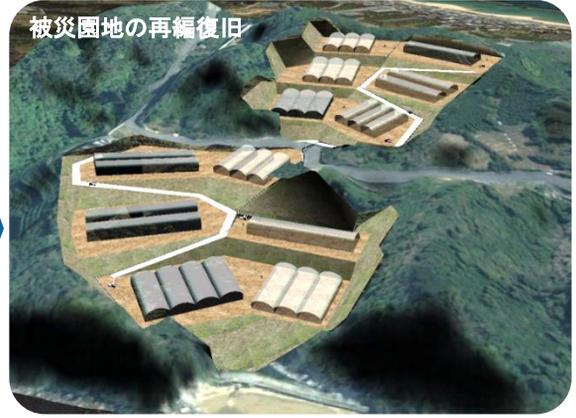
### 農地・農業水利施設の適切な保全管理、中山間地域の振興等

農業生産活動に不可欠な農地・農業水利施設の保全に加え、担い手の負担軽減や産地の防災機能の強化につながる取組を推進します。

- 農業水利施設の計画的かつ効率的な長寿命化対策
- 地域協働による農地・農業水利施設等の保全管理活動の促進
- 中山間地域等条件不利地域における農業生産活動の継続支援や生活環境基盤の整備 など

## ■ 柑橘園地の創造的復興

西日本豪雨で崩落した園地を災害に強く営農しやすい園地につくりかえます



## ■ 農業農村を支える担い手対策

担い手の規模拡大や所得向上を後押しします

水田のほ場整備



樹園地の再編整備



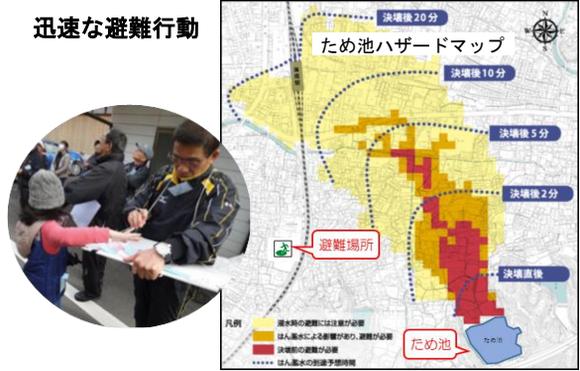
## ■ 農業農村の防災・減災対策

自然災害等による被害を防止・軽減します

ため池の改修



迅速な避難行動



## ■ 農地・農業水利施設の適切な保安全管理、中山間地域の振興等

地域共同活動



きめ細かな整備



# (1) 柑橘園地の創造的復興

## ■ 平成30年7月に発生した西日本豪雨災害の被害状況

### ○ 農林水産関係被害額

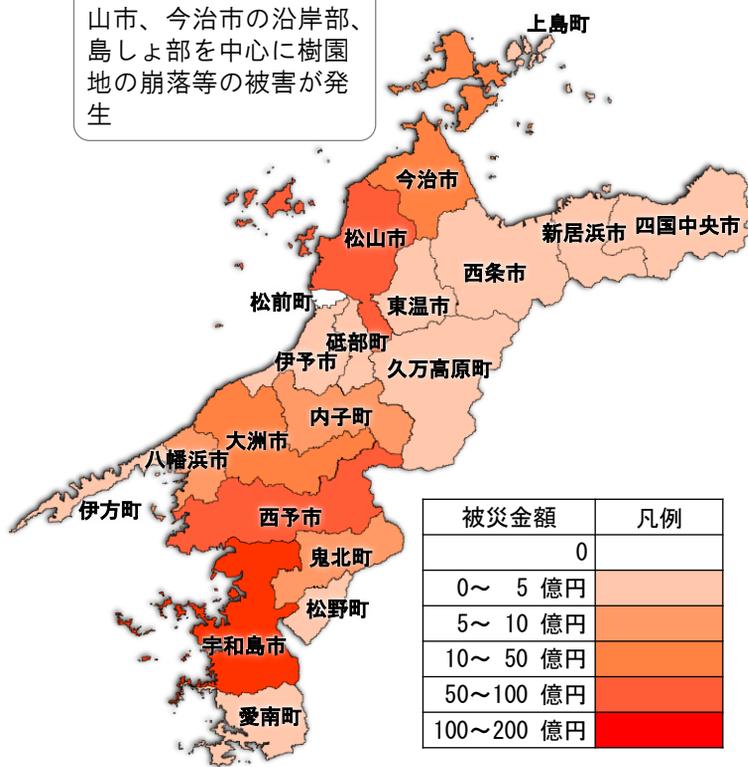
区分	被害額
農業関係	475 億円
農地・農業用施設等	354 億円
農作物等	113 億円
畜産	8 億円
林業関係	175 億円
水産関係	5 億円
総額	655 億円

### ○ 農地・農業用施設等の内訳

区分	件数	被害額
農地	2,720 件	147.5 億円
ため池	187 件	32.7 億円
農業水利施設	1,273 件	86.2 億円
農道	1,984 件	77.3 億円
海岸保全施設	27 件	7.5 億円
地すべり防止施設	14 件	2.0 億円
農村生活環境施設	10 件	0.5 億円
計	6,215 件	353.7 億円

### ○ 農地・農業用施設等の被害状況(市町別)

宇和島市、西予市、松山市、今治市の沿岸部、島しょ部を中心に樹園地の崩落等の被害が発生



市町名	件数	被害額
東予		
四国中央市	5 件	0.2 億円
新居浜市	5 件	0.1 億円
西条市	49 件	0.5 億円
今治市	697 件	42.1 億円
上島町	41 件	1.3 億円
中予		
松山市	850 件	52.8 億円
伊予市	63 件	3.4 億円
東温市	40 件	1.3 億円
松前町	- 件	- 億円
砥部町	20 件	1.5 億円
久万高原町	8 件	0.9 億円
南予		
大洲市	262 件	13.1 億円
内子町	117 件	5.9 億円
八幡浜市	57 件	5.9 億円
伊方町	12 件	0.8 億円
西予市	1,595 件	56.6 億円
宇和島市	1,851 件	157.3 億円
松野町	63 件	0.8 億円
鬼北町	316 件	6.2 億円
愛南町	164 件	3.1 億円
計	6,215 件	353.7 億円



宇和島市吉田町白浦



今治市上浦町盛 (大三島)

## ■ 崩落した園地の復旧

現地の地形や被災状況、地域の意向等に基づいて、「原形復旧」「改良復旧」「再編復旧」の3つの復旧方法で園地の復旧を進めており、そのうち「原形復旧」と「改良復旧」308箇所については、令和5年12月にすべて完了。

### 原形復旧

被災した部分を被災前に近い形状で復旧します



宇和島市吉田町白浦



地形条件に合わせて土留工を設置することで、災害に強い園地に復旧

### 改良復旧

被災していない園地を一部取り込み小規模な区画整理を実施します



松山市高浜



県、市、JAが「高浜地区復旧モデルワーキングチーム」を立ち上げ、営農再開まできめ細かく支援

### 再編復旧

周辺の被災していない園地も含めて大規模な区画整理を実施します

頻発する豪雨や深刻な担い手不足等に対応した災害に強く生産性の高い園地に再編するため、県下4地区で進めています。

地区名	場所	事業概要	工事予定期間
①玉津（たまつ）	宇和島市吉田町	区画整理5.4ha（2団地）	R2～R8（R3.7月工事着手）
②由良（ゆら）	松山市（興居島）	区画整理9.7ha（8団地）※	R3～R8（R5.2月工事着手）
③上浦（かみうら）	今治市（大三島）	区画整理6.7ha（3団地）	R3～R8（R4.3月工事着手）
④立間（たちま）	宇和島市吉田町	区画整理4.0ha（3団地）、 農道0.1km、用水施設整備7.3ha	R4～R10（R5.7月工事着手）

※再編復旧以外の整備園地6.1ha（6団地）を含む

#### ■ 整備イメージ(玉津地区・白浦工区)



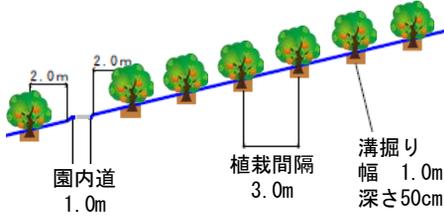
# 再編復旧の進捗状況と樹園地の再編整備(令和7年3月現在)

## 【再編復旧】玉津地区

区画整理 5.4ha  
(白浦1.7ha、法花津3.7ha)



白浦工区



〈白浦〉  
R7春まで植栽  
A=0.4ha  
(温州)



〈法花津〉  
R7春 植栽  
A=0.3ha  
(温州、媛小春)



## 【再編整備】下難波地区

区画整理 7.0ha  
(区画整理、農道、かんがい施設)

- ・緩傾斜化した園地で担い手への集積
- ・優良品種の施設栽培による高収益化



施設せとか生育状況(R7.3)



## 【再編復旧】立間地区

区画整理 4.0ha  
(白井谷0.7ha、正木谷2.2ha、カノノ1.1ha)  
農道整備 0.1km (正木谷)  
用水施設整備 7.3ha

R7春 植栽  
A=2a  
(ボンカン)



【再編復旧】由良地区

区画整理 9.7ha (8団地)  
うち被災団地 3.6ha (2団地)

〈6工区〉  
R7春 植栽  
A=0.3ha  
(せとか)



【再編整備】中島地区

【再編整備】浅海原地区

【再編整備】泊地区

【再編整備】堀江地区

【再編整備】砥部地区



紅プリンセスの産地化



【再編復旧】上浦地区

区画整理 6.7ha  
(盛4.5ha、井口1.6ha、古戸0.6ha)



J Aが担い手となり、新規就農者の研修に活用！

スマートアグリ導入



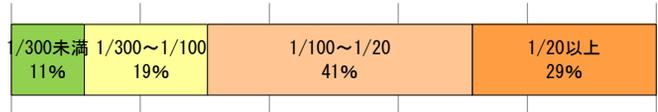
## (2) 農業農村を支える担い手対策

市町、JA、農地中間管理機構等と連携し、地域の実情や地形条件、産地の振興方針等を踏まえながら、意欲ある担い手の規模拡大や所得向上につながる生産基盤の整備を推進します。

### 水田における基盤整備

#### ■ 地形条件

水田の29%（全国14%）が1/20以上の急傾斜地にあります。



水田の地形勾配（H13年3月時点）

（第4次土地利用基盤整備基本調査）

#### ■ 整備状況

中山間地域を中心に小規模で分散した水田が多く、10a区画以上に整備された水田の割合は63%に達していますが、30a区画以上に整備された水田の割合は30%（全国68%）にとどまっています。

項目	愛媛県	全国
区画整備済 10a区画以上	62.8%	-
30a区画以上	30.4%	68.7%
50a区画以上	3.1%	12.3%

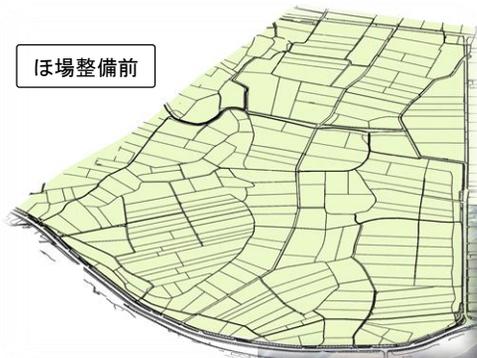
田の整備率（10a区画以上：R7年3月時点、その他：R5年3月時点）

（農業基盤情報基礎調査、農地整備課調べ）

#### ■ 推進方針

担い手への農地の集積・集約化、営農の省力化・生産コストの削減、高収益作物への転換等を促進するため、**ほ場整備**や**暗渠排水等の整備**による**大区画化**や**汎用化**を推進しています。

ほ場整備前



#### ほ場整備

不整形な農地の区画を整形し、用水路、排水路、農道、暗渠排水などの整備を行い、生産性の高い農地をつくります。



ほ場整備された水田（西条市：大兵衛南地区、蔵井地区）

## ■ 事例紹介

### 大兵衛南(たへえみなみ)地区(西条市) 農業競争力強化農地整備事業(H23~R2)

#### 大区画化

区画整理を行い、農道に接した大区画な農地にします

狭く不整形な水田  
農道や排水路も整備されていない



大型機械での営農が可能となり、  
担い手の規模拡大が可能に！



#### 用水のパイプライン化

用水路をパイプライン化し水管理を楽にします

水路の土砂上げや法面の草刈等の維持管理に  
苦慮しており、安定した水供給が難しい



安定した水供給、維持管理の省力化が可能に！



### 安井(やすい)地区(西条市) 農業競争力強化農地整備事業(H25~R8)

#### 汎用化

排水路整備や暗渠排水・客土を行い、水はけの良い水田にします

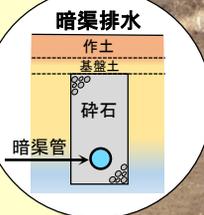
水はけが悪く  
米以外の作物が栽培できない



湿潤状態が改善し、  
野菜等の高収益作物の栽培が可能に！



道路に埋設した排水管で降雨を排水



暗渠管を水田に埋設し地下水等を排除

## 樹園地における基盤整備

### ■ 地形条件

樹園地の多くは、傾斜地にあり、44%（全国16%）が15°以上の急傾斜地にあります。



樹園地の地形勾配（H13年3月時点）

（第4次土地利用基盤整備基本調査）

### ■ 整備状況

本県の樹園地は、かんがい施設や農道の整備は進んでいますが、その多くが地形条件の悪い傾斜地にあることや、果樹は、新たに苗木を植栽し収穫できるまで年数を要することなどから、園地自体の整備（区画整備）が進んでいません。

項目	愛媛県	全国
区画整備済	5.6%	65.7%
かんがい排水施設整備済	56.2%	25.9%
農道整備済 （幅員3m以上）	77.8%	79.8%

注）樹園地のほか、普通畑、牧草地を含む

畑の整備率（R5年3月時点）

（農業基盤情報基礎調査）



スプリンクラー自動化施設の整備（八幡浜市）



農道の整備（八幡浜市）

### ■ 推進方針

柑橘を主体とする樹園地については、更なる労働生産性の向上、高収益品目の生産拡大、高収量・高品質化等を促進するため、**園地の再編整備による緩傾斜化、農道・園内道やかん水施設の整備、既存かんがい施設の高度利用**などにより、**災害に強く生産性の高い基盤づくり**を推進しています。

このほか、生産性が高い優良園地を効果的に確保するため、排水対策等の実施による**水田の樹園地転換を促進**します。



園地の再編整備（宇和島市）



水田の樹園地転換（今治市）

## 園地の再編整備

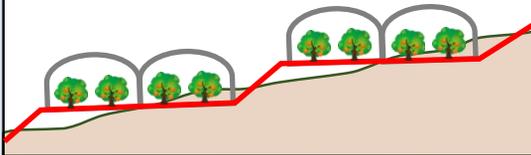
生産性が高く災害に強い園地に再編します

優良品種への改植等にあわせて、耕作放棄を含む生産効率の悪い園地を、  
○高品質果実の生産や多様な経営に対応した**低コストで効率性の高い園地に整備し**、  
○緩傾斜化や排水対策の実施により、**防災機能を強化**します。

※ 事業啓発時点から「**基盤整備**」「**営農対策**」「**担い手対策**」に関わる**関係機関・団体が連携**

### 例1 園地の平坦化+農道

優良中晩柑類のハウス栽培が可能に！  
(ハウス栽培により正品率が向上)



### 例2 園地の緩傾斜化+農道

担い手の規模拡大と  
高品質果実の安定生産が可能に！



## 小規模な園地整備

安価で即効性の高い手法で既存園地の防災力を強化します

再編整備の実施が困難な園地を対象に、  
○安価で早期に完成し、営農への影響が少ない手法で**既存園地の防災力を強化**します。

### 例 排水機能を有する園内作業道の整備

水食防止工を等高線に沿って面的に整備  
することで、地表水の円滑な排水と  
農作業の省力化を同時に実現！



水食防止工  
(作業道兼用)  
幅1.0m  
地表水  
ソイルセメント  
厚さ 10cm

※ソイルセメントとは  
「セメント」と「土」を攪拌混合したもの

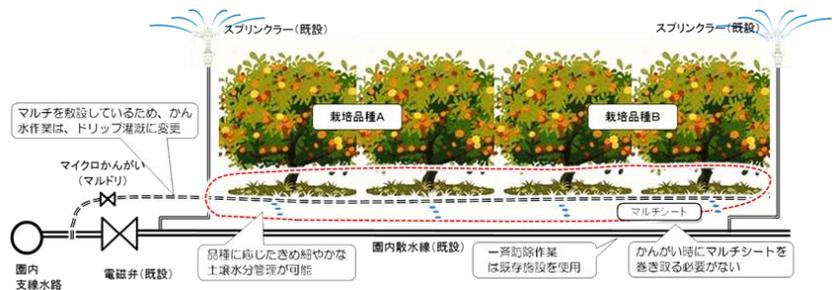
## 水利施設の高度化

多様な水利用に対応した自由度の高い施設に改良します

### マルドリ方式への対応

一斉かん水・一斉防除が可能  
なスプリンクラー施設に  
ドリップ灌水の機能を追加

作付品種や栽培方式の多様  
化に対応

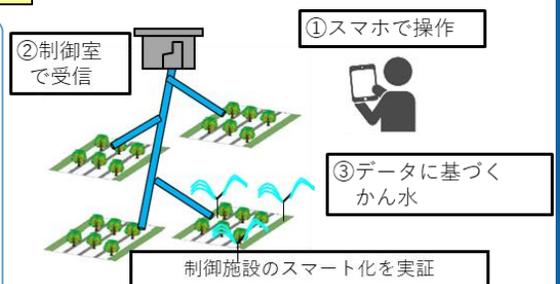


### ICTを活用したかん水の遠隔操作・監視等

#### 樹園地農業スマート化促進事業（県単）R6～R8

一斉かん水・一斉防除が可能なスプリンクラー施設の  
高度化に向けた技術開発  
・散水場所や量を柔軟に設定  
・スマホで遠隔操作、遠隔監視  
・マルチドリップ栽培等多様な水利用に対応  
・土壌改良剤も散布

▶ 樹園地農業のスマート化を実現



■ 事例紹介(再編整備)

下難波(しもなんば)地区(松山市) 農地中間管理機構関連農地整備事業(H30~)

整備前

- ◆複雑な地形の傾斜地で農道も狭い
- ◆主にいよかんを栽培
- ◆農業者の高齢化
- 収穫等の農作業が重労働
- 摘果や収穫等の作業が特定の時期に集中
- 放任園が増加



関係機関・団体の連携による支援

担い手の円滑な営農開始に向けて、県・市・JAで組織する「中予地区災害復興・樹園地再編ワーキングチーム」が、植栽計画（土づくり、苗木の注文・定植）や施設計画（ハウス等の設置）なども含めてきめ細かく支援しています。

- 基盤整備7.0ha
- 農地集積
- +
- 優良品種導入
- 施設整備等



工事状況R7.3月現在

整備後

- ◆農道が完備された平坦な園地
- ◆紅まどんな、せとか等を植栽
- ◆すべての園地を担い手に集積
- ハウス栽培をはじめとする多様な営農に対応
- 収益性は実施前の約5倍に増加する見込み
- 担い手10人（個人8、法人1、JA）で営農

産地を代表する「紅まどんな」等優良中晩柑の生産拠点

完成イメージ



紅まどんなのハウス栽培

ポイント

- ・ 園地の基盤整備は、**農家負担の無い農地中間管理機構関連農地整備事業**を活用
- ・ 担い手への農地集積は、**農地中間管理機構**を活用



- ・ JAが参入した農地は、新規就農者の育成（研修等）にも活用し、将来的に**新規担い手に継承**

## ■ 事例紹介(小規模な園地整備)

### 興居島(ごごしま)地区(松山市)

#### 整備内容

排水機能を有する園内作業道(水食防止工)の整備 A=0.3ha



## ■ 事例紹介(水利施設の高度利用)

### 真穴(まあな)地区(八幡浜市)

農地耕作条件改善事業(H30~)

#### 整備内容

老朽化したスプリンクラーの更新 A=264ha  
きめ細かな水管理のためのマルチドリップかんがい施設の整備 A=39.1ha

これまでのスプリンクラーによる  
一斉かん水・防除



共同作業により作業時間を大幅に短縮

マルチドリップかんがいによる  
水分コントロール



かん水、施肥をきめ細かくコントロールして高品質化・多品種化に対応

生産力強化・  
収入アップ

高品質化

多収穫化

省力化

### (3) 農業農村の防災・減災対策

頻発化、激甚化する豪雨災害や、南海トラフ巨大地震の発生等に備え、農地・農業用施設や地域住民の生命・財産等への被害を未然に防止又は軽減するため、計画的かつ効果的な防災減災対策を推進します。

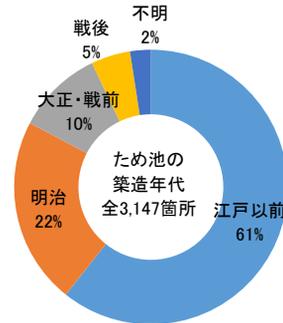
#### ため池対策

ため池下流の人家、農地、公共施設などの安全を守ります

#### ■ 県内ため池の状況

##### ○ 築造年代

県内の農業用ため池は、約6割が江戸時代以前に築造されており、築造後100年以上経過しているものが大半を占めています。



##### ○ ため池数

県内には、3,147箇所の農業用ため池があり、そのうちの1,751箇所を決壊時の影響が大きい防災重点ため池に指定しています。

農業用ため池の数は全国14位、防災重点ため池数は全国8位（令和3年12月時点）となっており、市町別では、今治市が828箇所と県内で最も多く、次いで松山市、西予市と続きます。

管内	市町名	農業用ため池 (箇所)	うち防災重点ため池 (箇所)
東予	四国中央市	53	44
	新居浜市	67	49
	西条市	192	146
	今治市	828	503
	上島町	44	10
中予	松山市	668	299
	伊予市	162	85
	東温市	97	85
	松前町	2	2
	砥部町	57	20
南予	久万高原町	20	6
	大洲市	102	23
	内子町	96	19
	八幡浜市	30	4
	伊方町		
	西予市	292	183
	宇和島市	181	140
	松野町	56	37
鬼北町	105	53	
愛南町	95	43	
合計		3,147	1,751

#### ■ 推進方針

決壊時の影響が大きい防災重点ため池を優先し、**堤体の改修や耐震補強等のハード対策**と、迅速な避難行動につなげる**ハザードマップ作成等のソフト対策**を推進しています。また、市町や愛媛県土地改良事業団体連合会と協力し、ため池管理者の適正な管理をサポートするため、「**愛媛県ため池保全サポートセンター**」を令和3年4月に開設し、管理者からの相談対応などを一元的に行うほか、ため池の点検・パトロールを実施（年間約70箇所）するなど、管理・監視体制の強化に取り組んでいます。



堤体を改修したため池（東温市）



愛媛県ため池保全サポートセンターによるため池点検

## 地すべり対策

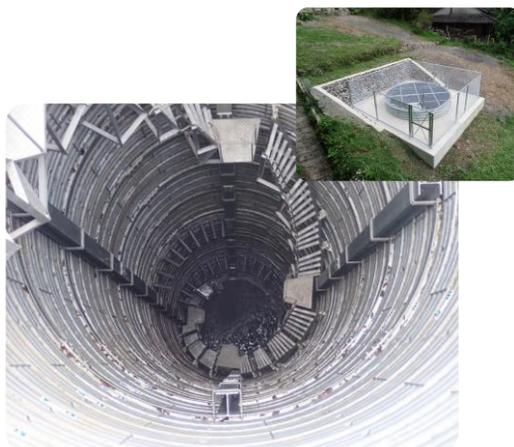
地すべりから農地や集落を守ります

本県は、急峻な地形と、東西に走る中央構造線を中心とした複雑な地質構造から、地すべり等の危険箇所が数多く存在します。

このため、地すべり防止法により指定した区域において、被害を防止又は軽減するための地すべり防止対策や老朽化した施設の機能回復を図る長寿命化対策を進めています。

### ■地すべり防止区域(農林水産省農村振興局所管)

防止区域数	備考
187箇所	全国3位



集水井工（久万高原町：杣野地区）

## 海岸保全施設整備

海からの波浪や津波から農地や集落を守ります

本県の海岸線の総延長は約1,700km（全国第5位）あり、海岸保全区域として県が指定した津波、高潮、波浪等から防護する必要がある海岸の延長は1,186km（全国第3位）に及びます。

このうち、背後の農地を保全するために指定した農地海岸361km（150海岸）について堤防・護岸等の海岸保全施設の整備や施設の管理・改良・長寿命化対策を進めています。

### ■海岸保全区域(農林水産省農村振興局所管)

管理区間延長(海岸数)	備考
361km(150海岸)	全国1位 (管理区間延長)

※管理区間延長は共同管理区間を含む



堤防の嵩上げ（上島町：佐島東地区）

## 湛水防除

大雨による湛水から農地や集落を守ります

立地条件の変化等により排水条件が悪化した地域において、農地等の湛水被害を防止するため、排水機場や排水路の整備を進めています。



豪雨による農地の湛水



排水機場の整備（西条市：玉津・下島山地区）

## (4) 農地・農業水利施設の適切な保全管理

農業生産活動等を通じた農業・農村が有する多面的機能の適切な維持・発揮を図るため、農業生産に不可欠な農地と農業水利施設の適切な保全管理を推進します。

### 農業水利施設の長寿命化

施設の長寿命化により農業用水の安定供給を図ります

本県は、急峻な地形に加え、瀬戸内海沿岸部では年間を通じて降水量が少ないことから、用水不足を解消するため、これまで多くの水源や用水路を整備してきました。

今後、これらの農業水利施設の機能を将来にわたり安定的に発揮させるため、**ストックマネジメント**の考え方にに基づき、**劣化状況に応じた適時・適切な予防保全対策**を推進します。

### ■県営事業で造成した基幹的農業水利施設の状況

施設名	施設数量	個別施設計画	備考
		作成済の施設	
農業用ダム（県営ダム）	5箇所	5箇所	朝倉ダム、歌仙ダム、立岩ダム、銚子ダム、大久保山ダム
頭首工、揚水機場、排水機場、樋門	72施設	51施設	
用排水路	783 km	630 km	

※愛媛県公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定）による保全対象施設



朝倉ダム（今治市）



大久保山ダム（愛南町）

- ・管理開始 1981（昭和56年）
- ・施設規模  
堤高47m、堤長253m、総貯水量1,400千m<sup>3</sup>
- ・現在、基幹水利施設ストックマネジメント事業により取水施設等を補修・更新

- ・管理開始 1979（昭和54年）
- ・施設規模  
堤高55.8m、堤長170m、総貯水量750千m<sup>3</sup>
- ・現在、基幹水利施設ストックマネジメント事業により取水施設等を補修・更新

### ストックマネジメント

施設の機能がどう低下していくのか、いつ、どんな対策をとれば効率的に長寿命化できるのかを検討し、効率的に対策を実施することで、維持・更新等に係るトータルコストを低減します。



ダム取水ゲートの更新



パイプラインのバルブ更新

多面的機能支払交付金(日本型直接支払制度)



農地維持支払

農用地、水路、農道等の基礎的な保全活動を支援します

- 支援対象 地域協働による農用地、水路、農道等の法面の草刈り、水路の泥上げ 等



農道の草刈り (東温市)



水路の泥上げ (西予市)

資源向上支払

農用地、水路、農道等の質的向上を図る共同活動を支援します

- 支援対象 水路、農道、ため池の軽微な補修、農村環境を保全するために行う植栽、生き物調査、施設の長寿命化のための補修更新 等



生き物調査 (西条市)



ため池の補修 (東温市)

農業水利施設の小水力発電

小水力発電で維持管理費の負担を軽減します

再生可能エネルギーの有効利用を促進するため、採算が見込まれる「志河川ダム」「大久保山ダム」「朝倉ダム」で小水力発電施設を整備しました。売電収益を農業水利施設等の維持管理費に充てることで農家の負担軽減につながっています。

■ 大久保山ダム (愛南町)



県営かんがい排水事業で建設された大久保山ダムの水位差を利用して発電を行っています。小水力発電施設整備事業で発電機等を整備し、平成30年10月から発電を開始しています。

有効最大落差	30.0m
最大使用水量	0.145m <sup>3</sup> /s
最大発電出力	23.5kW/h
発電方式	流れ込み式



## (5) 中山間地域の振興

中山間地域における農業生産活動の継続や定住を促進するため、中山間地域等直接支払による生産費格差の補正に加え、地域の实情に応じたきめ細かな基盤整備や生活環境の向上や集落機能の維持・強化につながる条件整備を推進します。

### 営農継続支援

条件不利地と平地との生産費格差を補正します

#### ■ 中山間地域等直接支払交付金(日本型直接支払制度)

##### ○ 支援対象

集落等で取り組む耕作放棄防止のための活動や農道・水路の管理方法等を定めた協定を締結し、5年間以上農業生産活動等を継続する農業者等

##### ○ 対象活動

- ・ 農業生産活動を継続するための活動  
耕作放棄の発生防止活動(法面保護・改修、鳥獣被害防止等)、水路・農道等の管理活動(泥上げ・草刈り等)、周辺林地の管理、景観作物の作付、環境保全に資する活動 等
- ・ 体制整備のための前向きな活動  
共同取組活動を継続できる体制づくりを進めるため、複数の集落協定間でのネットワーク化(活動の連携)や統合、多様な組織等の参画に向けた計画を作成



鳥獣被害防止活動(八幡浜市)



集落の課題について話し合い(松野町)

### きめ細かな基盤整備

地域の实情に沿った基盤整備を実施します

地域の特色を活かした営農の確立を図るため、地域の实情に沿ったきめ細かな基盤整備を推進しています。

#### ■ 県営中山間地域総合整備事業 東温地区(東温市)



棚田のほ場整備

#### 鬼北・松野地区(松野町)



水路の整備

## 生活環境の向上

農村の快適な生活環境を確保します

生活環境の向上や集落機能の維持・強化に向けた集落道路の整備、排水対策、営農飲雑用水の確保、汚水処理施設の整備などを推進します。



農業集落排水施設の整備（西予市）



営農飲雑用水施設の整備による  
洗浄水等の確保（大洲市）

## 中山間ふるさとと保全活動

地域の主体的な活動を支援します

### ふるさと・水と土ふれあい事業

「地域の主体的な活動」や「活動を支える人づくり」を支援し、ふるさとの水と土を守り、県民が住みたくくなるような魅力的な中山間地域づくりを推進しています。

#### 【ふるさと保全計画の策定】

地域の課題を洗い出し、地域が目指す将来像の実現に向けた道筋等をまとめた「ふるさと保全計画」を策定しています。



地域住民による話し合い（鬼北町）

#### 【ふるさと水辺の生き物教室】

地域の将来を担う子供たちを主体に、自然環境の大切さや環境保全に対する取組への理解を深める生き物教室を開催しています。



半田池（上島町）

#### 【ホームページ「愛媛のたなだん」】

棚田・段畑の持つ魅力や地域の取組を紹介するホームページ「愛媛のたなだん」を開設しています。現在6地域のPR動画を公開中です。



えひめの棚田・段畑サポーター

「愛媛のたなだん」ロゴマーク



(ホームページ)



(公式X)



EHIMENOTANADAN  
(公式Instagram)

## (6) 国営事業の推進

産地の生産力強化に向けて、国営事業を積極的に推進しています。

事業名	地区名	実施年度	関係市町
国営施設機能保全事業	南予用水	H26～R9	宇和島市・八幡浜市 西予市・伊方町
国営緊急農地再編整備事業	道前平野	H28～R11	西条市
国営かんがい排水事業	道前道後用水	R5～R17	松山市・西条市・伊予市 東温市・松前町・砥部町

### 道前道後用水地区

4市2町に及ぶ道前道後平野の農業生産を支える国営道前道後用水施設について、農業水利施設の改修と併せて、耐震化対策を進めています。

#### ○国営道前道後用水施設の概要

- ・受益面積 9,178ha
- ・国営農業水利事業（1期：S32～42、2期：H元～25）で造成

- #### ○実施内容
- ダム（改修） 3箇所
  - 頭首工（改修） 1箇所
  - 用水路（改修） 28.2km



面河ダム（水源）

### 道前平野地区

県内水田面積の約20%を占める県下有数の穀倉地帯である道前平野地域において、担い手の農地集積や高収益作物への転換を促進するため、水田の大区画化や汎用化を進めています。

- 受益面積 681ha
- 実施内容 区画整理 654ha（19団地）  
農業用排水施設整備 323ha



上島町

四国山脈を越えて恵みの水を供給する 虹の用水



### 南予用水地区

3市1町に及ぶ日本屈指の柑橘産地の高品質生産を支える国営南予用水施設について、施設の補修や補強などの長寿命化対策を進めています。

#### ○国営南予用水施設の概要

- ・受益面積7,200ha
- ・国営南予用水農業水利事業（S49～H11）で造成

#### ○実施内容 施設の保全対策

- 〔 野村取水塔、吉田導水路、  
幹線・支線水路、揚水機場 等 〕

南予地域の農業と生活を支える 命の水



## ■ 地域農業を支える国営用水施設

本県は、地形が急峻で、降雨が梅雨期や台風期に集中するため、その多くは水資源として利用されず海に流出します。また、瀬戸内海沿岸部では年間を通じて降水量が少なく、さらに、5水系ある一級河川のうち、吉野川や面河ダムがある仁淀川、四万十川の3水系は、県内に源を発しながら県外へ流出しており、たびたび渇水にみまわれてきました。このように水資源に乏しい本県にとって安定的な農業用水を供給する国営用水施設は本県農業に欠かせない重要な施設です。

### 道前道後用水施設

### 四国山脈を越えて恵みの水を供給する 虹の用水



### 南予用水施設

### 南予地域の農業と生活を支える 命の水





## えひめの農業農村整備2025

【発行】

愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課

〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2  
TEL 089-912-2535 FAX 089-912-2534  
URL <https://www.pref.ehime.jp/h35400/20/index.html>